

説明書No. F532a

安全屋根支柱『用心棒』木造用

いつでも活用できるよう大切に保管してください

このたびは、《安全屋根支柱「用心棒」木造用》をお買い上げいただきありがとうございます。本品は低層住宅専用墜落防止器具として、藤井電工(株)が製造したものです。

本品を有効にしかも安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、「4. 必ずお守りください（使用上の注意事項）」は事故を未然に防ぐためにとても大切です。よくご理解の上ご使用ください。取扱説明書を紛失された場合は弊社に請求してください。また、より安全なご使用のため、産業安全研究所技術指針「安全帯使用指針」（NIIS-TR-No.37（2004））の併読をお奨め致します。

当社の安全帯ならびに墜落防止器具の使用につきましては、下記のような特殊な環境下においては、設計上の性能・機能が十分確保されない状況が発生することが考えられます。特殊な環境下でお使いになる場合は、弊社の「お客様相談窓口」までお問い合わせ下さい。

特殊な環境下：①金属類に錆びの発生しやすい海上や沿岸地域での使用、②摺動部の作動に悪影響をおよぼす可能性がある土砂等の付着しやすい現場での使用、③繊維類の劣化が考えられる高温域での使用、④酸やアルカリの付着が考えられる現場での使用など。



もくじ

1. 用 途	P. 2
2. 構造および各部のなまえ	P. 2
3. 使 い 方	P. 3
4. 必ずお守りください （使用上の注意事項）.....	P. 4
5. 点検と廃棄の基準	P. 7
6. 保管・手入れのしかた	P. 8
7. 交換のめやす（耐用期間）.....	P. 8
8. 性 能	P. 8
9. お客様相談窓口	P. 8



FUJII DENKO

TSNshop

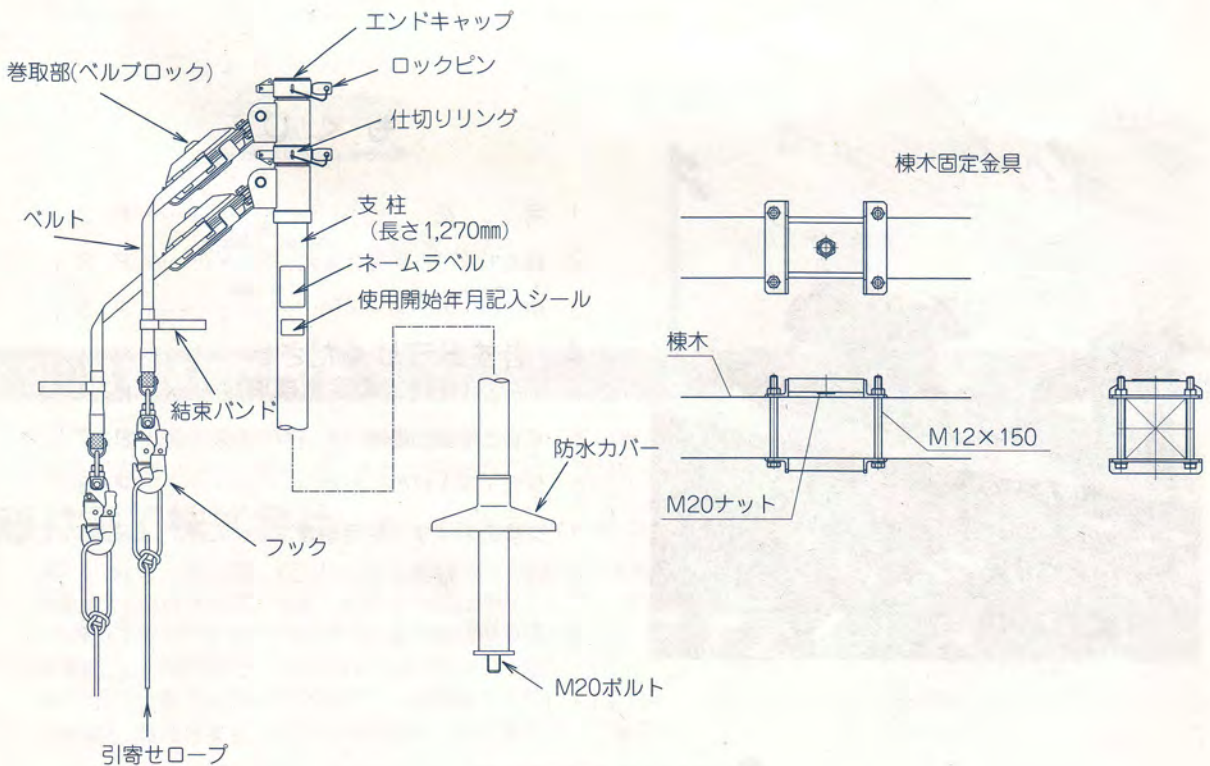
1. 用 途

安全屋根支柱「用心棒」木造用の使用状態および用途は次の通りです。

使用状態	用 途
	低層住宅の建て方作業から屋根仕上げ作業まで使用できます。 ● 屋根パネルの設置 ● 野地仕舞の着手時 ● ルーフィングの施工 ● 屋根材荷揚げ・屋根葺き時

2. 構造および各部のなまえ

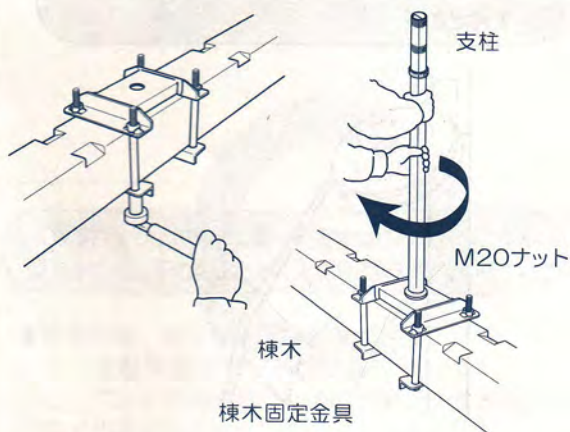
安全屋根支柱「用心棒」木造用の全体図



3. 使 い 方

・用心棒木造用を初めてお使いになられる場合は、支柱に貼ってある使用開始年月記入シールに使用開始年月を記入してください。

①支柱設置



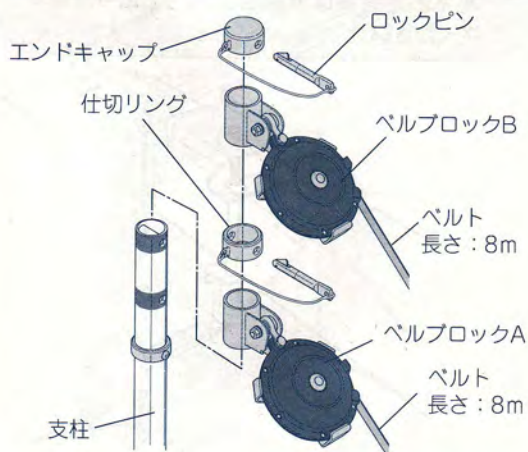
(1) 棟木固定金具を棟木にボルトで固定する。

⚠ 用心棒を取り付けるには、棟木に垂木を4本以上固定する必要があります。

(2) 支柱を棟木固定金具のM20ナットに右廻しにしっかりと締めて固定する。(6~7回程度)

⚠ 作業中に、ネジ部に緩みがないか数回確認する(必須)

②ベルブロックの差し込み



ベルブロックA・仕切リング・ベルブロックB・エンドキャップの順に支柱に差し込む。

(仕切リング・エンドキャップ差し込み時、ロックピンを「カチッ」と音がするまで確実に差し込み連結する。)

③ベルブロックのフックと安全帯のセット



ベルブロックのフックを作業者の安全帯のD環(クリップ環もしくは緩衝リング)に連結し、作業を行う。

④撤去



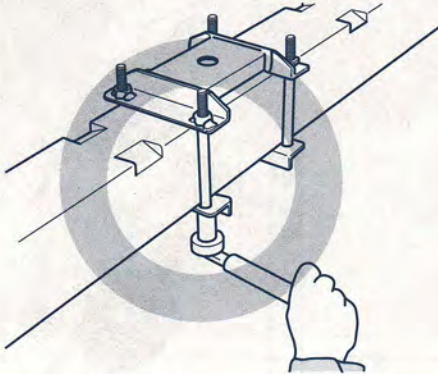
②の逆の順序でロックピンを抜きエンドキャップ・ベルブロックB・仕切リング・ベルブロックAを抜き、支柱を左廻しに6~7回程度廻し棟木固定金具のM20ナットから外す。

4. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

⚠ 危険

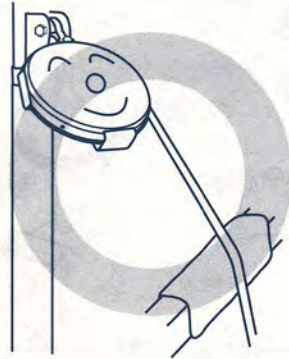
重大な事故につながる危険性がありますので、次の事項は厳守してください。

棟木固定金具は棟木にしっかりと取り付けてください



- ボルトの締付けが弱いと、墜転落時の衝撃により構造物が破損し、墜落阻止できない危険性があります。棟木固定金具は必ず棟木にしっかりと取り付けてください。

鋭いエッジがある場合はパッド等で保護してください

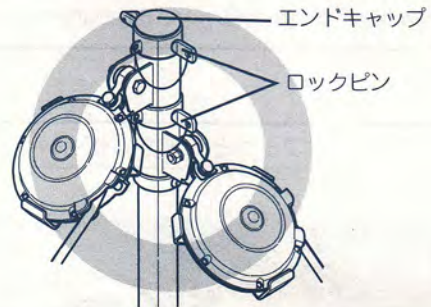


- ベルト接触部に鋭いエッジがあると、万一の墜転落時にベルトが切断する危険性がありますので、パッド等で保護してください。

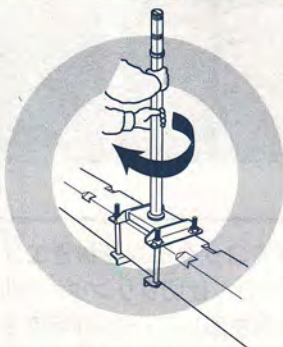
（プレート・アングル材等の切断面およびガス溶断のまま、L65以下のアングル材など）

ロックピンを確実に挿入してください

- 支柱上部の赤色塗装部に必ずリングが固定されていることを確認してください。また、ロックピンは先端が「カチッ」と音がするまで挿入して下さい。



支柱は棟木固定金具のM20ナットにしっかりと取り付けてください



- ボルトの締付けが弱いと、墜転落時の衝撃により構造物が破損し、墜転落阻止できない危険性があります。支柱は必ず棟木固定金具のM20ナットにしっかりと取り付けてください。
- 作業中に、ネジ部に緩みがなが数回確認して下さい。

分解・組立または改造しないでください



- ご自分で分解・組立または改造をすると、本来の機能を失うおそれがあります。また、内蔵されたばねが飛び出して大ケガをする危険性があります。

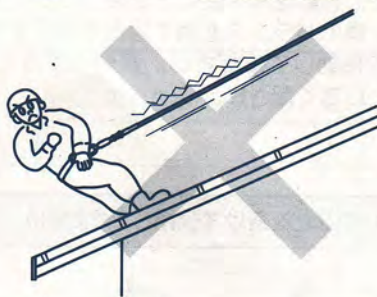
TSNshop

警告

ご使用にあたって、次の事項は厳守してください。

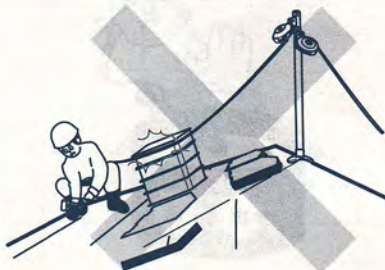
ベルブロックに体重をかけて作業しないでください

- 本品は墜転落防止専用の器具です。体重をかけて作業しないでください。



ベルブロックと作業者の間に障害物のないことや、ベルブロックの上下の位置をよく確認して移動してください

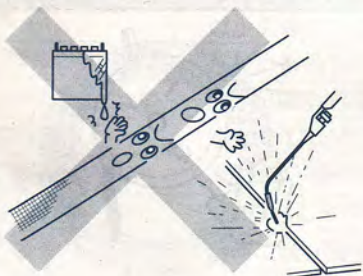
- 墜転落時、落下停止距離が長くなり、身体に大きな衝撃荷重がかかるおそれがあります。また、ベルトが交差すると他の作業者を巻き添えにするおそれがあります。



凍結時は使用しないでください

- ベルブロック本体が水に濡れて凍結すると、ロック装置が働かないおそれがあります。

火気・薬品が触れる場所では使用しないでください



- ベルトは、火気・薬品（酸・アルカリ）に触れると著しく強度が低下します。薬品が付着したベルトは必ず取り換えてください。

損傷・焼損・擦り切れなどによりベルトの芯糸が露出しているものは使用しないでください



- 芯糸（白色）が露出しているものは、強度が不足し、墜転落阻止できないおそれがありますので、ベルトを取り換える必要があります。ベルトの取り換えは、必ず弊社へお申しつけください。

一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください

- 墜転落阻止等により一度でも大きな荷重が加わったものは、内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。弊社の検査を受けるまでは使用しないでください。

注意

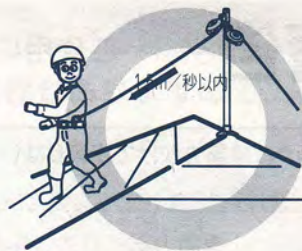
安全にお使いいただくため、次の事項は守ってください。

遅い引出しではロックしません

- 緩い勾配の屋根上などベルトの引出し速度が遅い転落では、ロック機能が働かない場合があります。

急激に移動速度を変えないでください

- 急激に移動速度を変化させるとロック機能が作動し、体のバランスを崩す場合があります。一定速度で移動してください。移動速度は1.5m/秒以内としてください。



水・油などを避けて使用してください



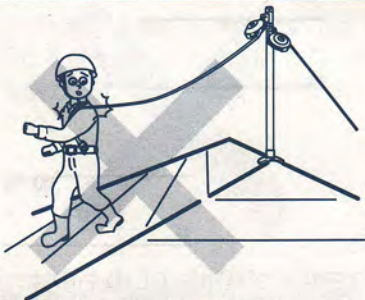
- ベルトが水・油等に触れた時はウエス等で拭き取ってください。また、ペルブロック全体が海水・泥水・油等に漬かった場合は、ロック機能を失う場合がありますので、藤井電工㈱の点検をお受けください。

ベルトに付着した異物（泥やセメント等）は取り除いてください



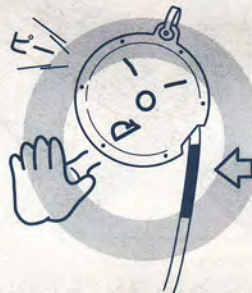
- 異物（泥やセメント）が付着した場合は、拭き取ってください。そのままにしておきますと、ロック機能が作動しないなどの故障の原因になります。

移動中または作業中にベルトを腕や足の下に通さないでください



- 移動中や作業中にベルトが絡まり、バランスを崩して思わぬ事故につながる場合があります。

ベルトの引き出しはマーキングの位置までとしてください



- いっぱいまで引き出すと故障の原因になります。

作業前には必ず始業点検を行ってください

- 作業前には、「5.点検と廃棄の基準」を参照の上点検を行ってください。処置を必要とする場合は、部品の修理や交換を行ってから使用してください。

引き出したベルトはゆっくり巻き取ってください

- 勢いよく巻き取ると、ベルトが乱巻きになったりして、故障の原因になります。引寄せロープを使用したり、ベルトに手を添えてゆっくりと巻き取ってください。



TSNshop

5. 点検と廃棄の基準

始業前には次の項目について点検し、該当する場合は部品の修理または交換を行ってからご使用ください。なお、部品の交換が必要な場合は弊社へお申しつけください。

部品名	点 検 項 目	処置を必要とする状態	処 置			処置の理由等
			部品の修理	部品の交換	廃 棄	
ベ ル ブ ロ ッ ク ツ ク	本 体	・ ロック機能の良否		○		・ 墜落阻止が不可
		・ 本体の割れの有無		○		・ 強度低下
		・ ベルトの巻き込み出し具合	○			・ 強度低下
		・ 本体の変形の有無		○		・ 強度低下
				○		・ 強度低下
		・ ボルトの締付け具合	○			・ 強度低下
				○		・ 強度低下
	ベ ル ト	・ 傷等の有無		○		・ 強度低下
		・ 薬品・塗料の付着の有無		○		・ 強度低下
		・ 全体に波打っているもの		○		・ 強度低下
	○ 型 シ ャ ッ ク ル シ ャ ッ ク ル	・ 傷の有無		○		・ 強度低下
		・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ リベットの摩滅の状態		○		・ 強度低下
		・ ボルトの締付け具合	○			・ 強度低下
				○		・ 強度低下
	安 全 フ ッ ク	・ 外れ止め装置の機能の良否		○		・ 墜落阻止が不可
		・ 外れ止め装置の変形の有無		○		・ 操作性が悪い
		・ フック本体の傷の程度		○		・ 強度低下
		・ フック本体の割れの有無		○		・ 強度低下
		・ リベットの摩滅の状態		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ 傷の有無		○		・ 強度低下
支 柱 部	支 柱	・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ 大きな傷や溶接部に亀裂があるもの。		○		・ 強度低下
	ボ ル ト	・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ 大きな傷や溶接部に亀裂があるもの。		○		・ 強度低下
	仕 切 リ リ ン グ エ ン ド キ ャ ッ プ	・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ 大きな傷や溶接部に亀裂があるもの。		○		・ 強度低下
	ロ ッ ク ピ ン	・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ ロック機構の確認		○		・ 強度低下
		・ 大きな傷や溶接部に亀裂があるもの。		○		・ 強度低下
	棟 木 固 定 金 具	・ 変形の有無		○		・ 強度低下
		・ 錆の状態		○		・ 強度低下
		・ 大きな傷や溶接部に亀裂があるもの。		○		・ 強度低下

6. 保管・手入れのしかた

- (1) ペルブロックは次のような場所で保管してください。
 - ①直射日光に当たらない所。
 - ②風通しがよく、湿気のない所。
 - ③火気・放熱体などが近くにない所。
 - ④腐食性物質と同室でない所。
 - ⑤塵埃の少ない所。
 - ⑥ねずみの入らない所。
- (2) 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。
- (3) ペルトに泥・埃・油などが付着している場合はぬるま湯で洗い、乾いた布で拭き取った後、日陰で自然乾燥させてください。
- (4) 本体・カラビナなどの金具は付着した砂・土・水などを拭き取り、可動部に時々注油してください。

7. 交換のめやす（耐用期間）

使い方によって異なりますが、部品の交換は、ペルトについては使用開始年月より2年*、その他の部品については3年をめどとしてください。ただし、「5. 点検のしかた」にしたがって始業前に必ず点検を実施し廃棄基準に達したものは使用しないで新品と取り換えてください。（本製品をより安全にお使いいただくため、3年ごとにメーカーによる定期点検を受けられるようお勧めします。）

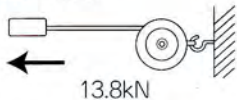
* ペルトは屈曲や紫外線によって劣化します。そのため使用頻度が高いと思われる場合（ほぼ毎日4～5時間以上本品を使用することにより、ペルトの引出し、巻取りが繰り返される場合）は、外観に異常がなくても強度低下が起きている場合があります。このような使用頻度が高い場合は1年毎にメーカーの点検を受けて頂くことをお勧めします。なお、使用頻度について分かりにくい場合は、弊社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

8. 性能

当社の総合試験所において下記の試験状態で性能（強さ）を確認したデータです。

(1) 強度試験

・ペルブロック



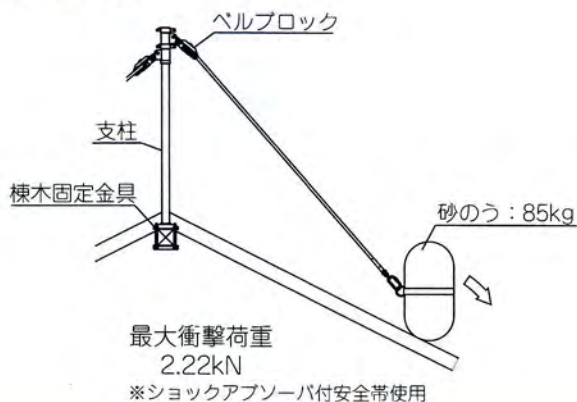
・フック (FS-57)



・ペルト



(2) 落下試験



9. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容につきおわかりになりにくいときや、製品の取扱いにつきご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電工株式会社 URL=<http://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2
(東北地区) 仙台営業所 〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル
(関東地区) 東京支社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル2階
(中部地区) 名古屋営業所 〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目16番5号 ニュー千代田ビル1階
(関西地区) 大阪営業所 〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ボタンビル
(九州地区) 福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22番33号

TEL(0795)48-3360 FAX(0795)48-3409
TEL(022)256-7001 FAX(022)295-7423
TEL(03)5821-2241 FAX(03)5821-2170
TEL(052)322-6081 FAX(052)322-6286
TEL(06)6882-3355 FAX(06)6242-2170
TEL(092)413-6110 FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区は本社 営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

T&Nshop
08001